

僕はまた今日も君を夢に見る

作詞 J'Soul (浅羽一)

永遠の愛を誓い合ったのは 昨日の夜見た夢の中だった
永遠が幻想だと気付いたのは ベッドの中で目覚めた朝だった
鏡に映った表情は 涙を流して笑っていた
彼女より綺麗な女なんて この世界中には沢山いるさ
だけど僕が彼女を忘れるなんて そんな事ずっとあり得ないんだよ
彼女より優しい女だって 周りを見渡せば見つかるはずさ
だけどだからその子と付き合うなんて そんな事理由にならないんだよ
彼女以上の女ならいるさ
でも彼女より大切な女なんか一人もない
彼女みたいな女ならいるさ
でも彼女を忘れさせる女なんか一人もない



沈黙の中で抱き合ったのは 雪が冬空に浮かれた夜だった
重なった口唇^{くちびる}を遠ざけたのは 確かな愛を囁くためだった
瞳を飾った表情は 真っ赤な顔をして笑っていた
彼女より気の利く女なんか 日常を重ねればまた出会えるさ
だけど僕はそれを横目で見ていても 大して興味など持たないんだよ
彼女より賢い女だって 世の中で探せば溢れているさ
だけどその中の誰が傍に来て 微笑みを返す事はないんだよ

■繰り返し

通り過ぎた過去は消せない変わらない
だから未来を変えていくしかない
固まった時間は誰にも戻せない
だから必死で足掻くしかないのに
…身動きできない…動きたくない…
…僕はこの夢から目を覚ましたくない

■繰り返し